

関西学院構内古墳

カンセイガクインコウナイコフン



指定日：昭和49年(1974)3月20日 種別：史跡

直径12m、高さ3mの小円墳。南に開口する右片袖形式の横穴式石室を有する。石室は、狭長な平面プランを呈しており、玄室長4.74m、羨道長5m、奥壁幅1.5m、羨道幅1.2m、玄室床面から天井までの高さは、2.4mを測る。玄室の両側壁には持ち送りの技法がみられる。石室石材には仁川溪谷で採れる花崗岩の河原石を使用している。埋葬遺骸の一部と金環、滑石製勾玉、琥珀製棗玉、碧玉製管玉、水晶製切子玉、硝子製小玉、鉄鏃、馬具、革帯留金具片、須恵器完形品が出土している。